

諏訪信仰と自然 —日本の山岳信仰と水・風—

話題提供	笹本 正治 さん	[信州大学地域戦略センター長]
日 時	2 月 13 日 (土)	午後 1 時 30 分 ～3 時 30 分 (予定)
会 場	あがたの森文化会館	本館 1 — 5 参加費 200 円

信濃国の一宮として知られる諏訪大社の祭神は、建御名方神と八坂刀売神として知られています。しかし、その根源にあるのは人格神でなく水や風、岩や山などの自然に対する信仰です。このことを主として諏訪大社上社本宮の社殿配置や地域のことわざ、「諏訪の本地」、「諏訪大明神画詞」、古文書や記録などから説明していきます。人間にとって必要不可欠な水に対して私たちの先祖はどのような感情を抱いたのか、永遠に続く大気循環をどのように理解したのか、神はどこに宿っていると考えたのか、様々な角度から諏訪信仰を読み解きます。

諏訪大社の信仰は決して特殊なものではありません。その根源を理解すると各地にある神社や寺の立地、なぜそこが選ばれたのかなどがわかるようになります。自然と共存してきた日本人の信仰を探ることは、今後の人類の生き方にも直結します。2016 年は諏訪大社で御柱が催されます。このような年に当たり、改めて諏訪信仰について見直してみませんか。

笹本正治さんは山梨県出身。信州大学人文学部卒後、名古屋大学大学院文学研究科博士課程前期修了。信大文学部教授。15 年 9 月まで信大副学長を務めた。専門は日本中世・近世史で、戦国大名武田氏の実態、音の様相や災害史などを研究。地域起こしにも取り組む。松本市在住。

☆テーマに沿って話題提供者の話のあと、気楽に懇談。自由にご参加ください。

主催 サロンあがたの森実行員会 共催 旧制高等学校記念館・松本高等学校同窓会
問合せ 旧制高等学校記念館 ☎ 35-6226 FAX 33-9986